

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

気付きと「科学する心」／福岡市立和白幼稚園

砂や水で遊ぶ子どもたちの姿は、多くの園で毎日のように見られます。子どもたちをよく観ると、遊びながら気付いたことを楽しんでいる姿を捉えることができます。子どもたちは気付いたことを表わし、「○○しよう」と思いや疑問をもち、納得するまで遊んでいます。今回は、気付いたことを楽しむ4歳児の事例をご紹介します。



○ 気付きが遊びの楽しさに繋がる／4歳児

✦ 事例：もっと速く流したい！

● 船と自分、どっちが速いかな？

Aちゃんたちは、樋を繋げて、砂や船を水で流して遊んでいる。

石を流すが流れない。

流れる船と同時にAちゃんが走る。船の方が速く流れる。

● もっと速く流したい

流す水を増やしたら速くなるかな！？

蛇口を開けて、ホースから樋に流れる水を増やす。
ホースからの水に加えて、バケツの水も同時に流す。

● もっともっと速く流したい

もっと高くしよう！

樋の端を持ち上げて傾斜を変える。
端を持ち上げ高くするほど、船は速く流れる。
何度も繰り返し、流れの速さを見ている。



● 考察

子どもたちは、水が物を流すおもしろさを感じて遊んでいた。樋に置いた船を「もっと速く流したい」という欲求が芽生えたとき、今までの経験から速く流れる方法を考えて試し始めた。友達と考えを出し合い、水量や樋の傾斜差によって水の勢いを変えることを何度も試し、流れる速さの変化を楽しんでいた。この気付きが「科学する心」の育ちと捉える。

✦ チョコレートできたよ！

● トロトロ砂集めよう

雨上がりの園庭に、トロトロ状態の地面を見付ける。

園庭中を歩き回って**トロトロ地面を探し、五箇所を見付ける。**

「ここのトロトロ、赤色だね」と、**色の違いに気付く。**

「カップにトロトロを入れよう」と言い、早速トロトロ砂を容器のカップに集める。



● お日様に当てよう

5歳児が、「トロトロー」「気持ちいいね」と言いながら感触を楽しみ、それらをいろいろな形の容器に集め、チョコレートに見立てた。

「お日様に当たると、固まるんじゃない?」「お昼には固まってるかな?」と言いながら遊んでいる。5歳児の刺激を受けて、今までの経験から4歳児なりに砂や土を乾かすイメージをもつ。

日当たりのよい所に置くことに気付く、天日干しをする。



● 固まった!

乾いて固まった状況に気付く、「固まってる!」と言い喜ぶ。

固まった砂を様々な形に割ってみたり、削ってみたりする。

「チョコレートだよ!」「クッキー食べる?」と想像を膨らませ、友達や保育者と会話を楽しむ。



● 考察

「トロトロ砂は水が無くなると固まった」「固まった砂は割れやすい」など細かい砂と水の関係を感じ取っていた。